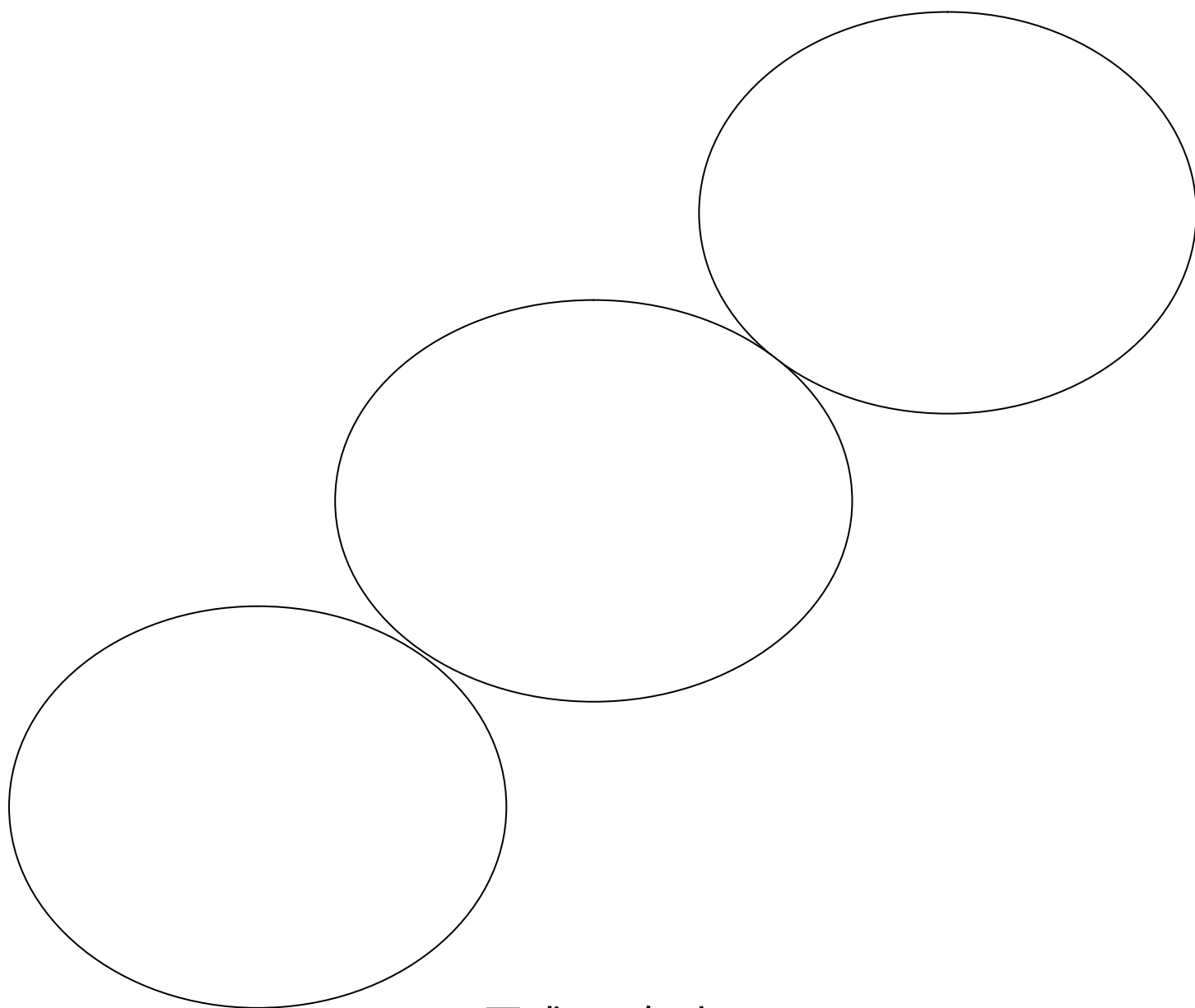


# 学校評価



平成 20 年度

周南市立周陽中学校

## 目 次

学校評価統括表	…	1
自己評価書	…	2
学校・授業評価年間計画学校関係者評価書	…	3
資料		
学校評議会、学校関係者評価委員会 資料 ・学校評議員 ・学校評価 ・学校評価のイメージ 「第三者評価」は実施していない	…	4
学校・授業評価年間計画	…	5
学校評価（自己評価）アンケート（管理型）	…	6
教職員自己評価 結果 （管理型）	…	7
学校アンケート表 （網羅型）～ 生徒、保護者、教員	…	8
学校評価生徒結果と保護者アンケートの評価値比較	…	11
保護者アンケート結果（保護者配布）	…	12
少人数指導生徒アンケート結果（評価値比較）	…	13
学校関係者評価～学校評議員、地域住民 （地区民生委員協議会員、保護司会）	…	14

# 平成 20 年度 学校評価統括表

平成 21 年 2 月 25 日

1 学校の概要			
学 校 名	周南市立周陽中学校	校 長 名	中村 旗四士
生 徒 数	508人	学 級 数	17学級

2 学校教育目標	
(1) 学校教育目標	人間性豊かで、心身ともにたくましく、思いやりのある生徒の育成
(2) 重点目標	心の教育の推進（安心で安全な人にやさしい学校・学級づくり） 基礎・基本の徹底と確かな学力の定着（学び合いのすすめ、少人数指導の充実） 一人ひとりの夢の実現をめざすキャリア教育の推進（生き方指導、職場体験の充実）
(3) チャレンジ目標	笑顔で心つなく挨拶 人にやさしい学校づくり

3 目標達成について統括的評価	
心の教育の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 教職員自己評価の「道徳授業研修、生徒の道徳心の育成」評価値 1.61、「学級活動、教科学習を通じて安心で安全な人にやさしい学校・学級づくり」評価値 1.67 であり、取組状況は良好である。今後とも諸検査を利用しながら、基盤となる学級づくりに継続的に取り組む必要がある。</li> <li>・ 基礎・基本の徹底と確かな学力の定着</li> <li>・ 教職員自己評価の「教科、学び合い活動等を研修、授業へ取り入れることによる基礎・基本の徹底、学力の定着」評価値 1.71、「学力向上プランの進捗と見直し」評価値 2.06 であり、1月段階ではプランの進捗と見直しの数値が高くなっているが、2月下旬には全教科プランの反省と評価を行い、次年度への課題を検討した。</li> <li>・ また、少人数指導の一層の工夫が望まれる。</li> <li>・ 一人ひとりの夢の実現をめざすキャリア教育の推進</li> <li>・ 教職員自己評価での「研修・実行」評価値 2.00、「体験活動前後の指導を重視してきた。」評価値 1.81 であり、教職員の研修の継続、生徒の体験活動や日々の当番活動等の場を通じての勤労観、職業観の育成に取り組む必要がある。</li> <li>・ 今年は、保護者への啓発資料を作成し配布したが、学校だより・学年だよりを通じて啓発する必要がある。</li> </ul>	

4 次年度への課題	
心の教育の推進	
<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 道徳授業を要として講演会や体験的な活動を取り入れ、生徒に道徳的实践力が身に付くように努力し、検証していく必要がある。</li> <li>・ また総合的な学習の時間の学年テーマに応じた活動内容を整理し、大型個人レポートの活用が必要である。</li> <li>・ 基礎・基本の徹底と確かな学力の定着</li> <li>・ 学び合い活動等を活用した授業展開に努め、教え込む場面との使い分けの実践が必要である。</li> <li>・ また、学習が「受験準備のため」という傾向が強い。生涯学習や自己実現のための学びにつながるように努める必要がある。</li> <li>・ 一人ひとりの夢の実現をめざすキャリア教育の推進</li> <li>・ 教職員のキャリア教育研修をさらに行い、2年生の職場体験活動で完結することがないよう注意が必要である。体験活動のみならず前後の活動の重要性に着目することと、日々の当番活動等の場こそ勤労観、職業観の育成につながることを理解し実践する必要がある。</li> </ul>	

5 課題解決に向けての今後の取組	
道徳授業の画一的な展開ではなく、資料の読み取り方法や生徒の発問を中心においた授業研究を行う。	
学び合い活動等を取り入れた授業を取り入れ、学力の向上に努める。また生徒が「学びの意義」を理解できるようにするとともに、少人数指導や1授業に2人の教員が入るTT授業を活用し、効果的な方法を継続的に研究していく。	
各学級での係・委員会活動を活性化し、生徒のやりがいにつながるよう努めるとともに、キャリア教育としての本来的な進路指導に努める。	

自己評価書

平成 21 年 1 月 16 日

学校名	周南市立周陽中学校		
校長名	中村 旗四士		
自己評価実施時期	第 1 実施日 20 年 9 月 24 日	第 2 実施日 21 年 1 月 ~ 2 月 13 日	
対象	生徒 (488/507) 96.3% 保護者 (PTA 役員 29) 教員 (31) 100%	生徒 (486/508) 96.3% 保護者 (361/465) 77.6% 教員 (31) 100%	

教育目標	人間性豊かで心身ともにたくましく、思いやりのある生徒の育成		
重点目標	心の教育の推進 (安心で安全な人や やさしい学校・学級 づくり)	基礎・基本の徹 底と確かな学力の 定着(学び合いの すすめ、少人数指 導の充実)	一人ひとりの夢の 実現をめざすキャリ ア教育の推進(生き 方指導、職場体験の 充実)
1 取組の状況 (21.1.6 教職員)	・生徒の道徳心の育成 (達成評価値 1.61) ・学校、学級づくり (達成評価値 1.67)	・基礎・基本の徹底 と学力の定着 (達成評価値 1.71) ・学力向上プランの 実践程度 (達成評価値 2.06)	・キャリア教育の研修 と実行 (達成評価値 2.00) ・体験活動前後の指導 の重視 (達成評価値 1.81)
2 課題	・より生徒が安心感を 得る工夫 ・心を揺さぶる授業づ くり ・教職員の心の教育へ の意識の共通化	・学習規律に関わる 教師と生徒との良 好な人間関係の維 持 ・少人数指導の研究 ・授業評価に基づく 授業改善 ・情報発信	・教科との関連性 ・学びの意義へつなげ る進路指導 ・職場体験希望調査の 工夫と生徒の意識の 高揚 ・生徒・保護者への啓 発活動
3 改善方策	・授業研究の継続 ・Q-U の研修と活用に よる人間関係の早期 発見と対応	・学び合い学習への 取組 ・学習規律、授業改 善、たよりの活用	・系統的・継続的な指 導 ・当番活動の充実を図 り勤労観を育成
4 重点目標以外 の気づき	・授業では「教職員と保護者」と「生徒」に意識の差がある ・挨拶やきまり、部活動の運営に三者に差があるが、中間値 2 . 5 を下回った数字(1 そう思う ~ 4 思わない)であり、良好である。		
学校関係者評価に 必要な資料	自己評価書 学校評価のイメージ 学校・授業評価年間計画 教職員自己評価 (21.1 目標管理型) 結果 生徒・保護者学校評価アンケート結果(20.9、20.2 網羅型) 少人数指導授業評価(20.11.) 学校関係者評価(20.6 地域住民として桜木地区民生委員協議会) (20.2 周陽地区民生委員協議会、保護司会を実施)		

学校関係者評価書

平成 21 年 1 月 16 日

学校名	周南市立周陽中学校
評価委員	学校評議員、保護者代表（PTA 会長、副会長） 校長、教頭、教務主任

教育目標	人間性豊かで心身ともにたくましく、思いやりのある生徒の育成		
重点目標	心の教育の推進（安心で安全な人にやさしい学校・学級づくり）	基礎・基本の徹底と確かな学力の定着（ <u>学び合いのすすめ</u> 、少人数指導の充実）	一人ひとりの夢の実現をめざすキャリア教育の推進（生き方指導、職場体験の充実）
1 取組の状況に関する意見	生徒の健全育成に前向きに取り組んでいる。 道徳は副読本や資料の活用で行っているか Q-U の活用に興味を持った 基盤となる学級づくりは重要	各学級とも落ち着いて学習に取り組んでいる。 先生方の取組がよく伝わる 朝の読書と朝の学習のバランス 宿題をどのように出し、処理しているか 学力・学習状況調査のことが報道されるが、本校としてはどう考えているか	「進路指導」、「体験活動」への評価が高く、良くできている。 体験学習は継続的に取り組んでもらいたい 得るものが多い
2 課題に対する意見	心の教育は地域・家庭への発信や協力が重要 生徒が「生命の大切さ」、「人権」についてどの程度理解をしているか検証してはどうか。	学習指導への取組やあいさつ、思いやりでの先生、生徒、保護者の思いのギャップは、学校だけの問題とは感じない。 全体の授業進行と個人の能力伸長のバランスが難しい。	平日のボランティア活動を行うことはできるか 家庭との情報の共有化がいる。
3 改善方策に対する意見	先生が様々な取組を行っているが、地域や保護者を巻き込んでいく方法を考えていくと良い 自分から意見を述べさせる「話し合い」活動をつくる。 先生と生徒のコミュニケーションにより、不安等への早期の相談実施 保護者との交流機会を充実していく。		
学校運営の改善に関する意見	花壇を生徒自らの力で管理していく時間を作り出せるか 周陽中学校の伝統を大切にしたい。「運動会の開会式」等、話を聞く態度を見るとすがすがしい気持ちになる。規律ある行事を特に大切にしたい。 良い意味の先輩後輩の関係は大切にしたい。		

学校評議員

・学校教育法施行規則

第49条 小学校には、設置者の定めるところにより、学校評議員を置くことができる。

2 学校評議員は、校長の求めに応じ、学校運営に関し意見を述べることができる。

3 学校評議員は、当該小学校の職員以外の者で教育に関する理解及び見識を有するもののうちから、校長の推薦により、当該小学校の設置者が委嘱する。

学校評価

・学校教育法 第42条 学校運営評価 、第43条 学校運営情報提供義務

・学校教育法施行規則 (19.12.26施行)

第66条 小学校は、当該小学校の教育活動その他の学校運営の状況について、自ら評価を行い、その結果を公表するものとする。

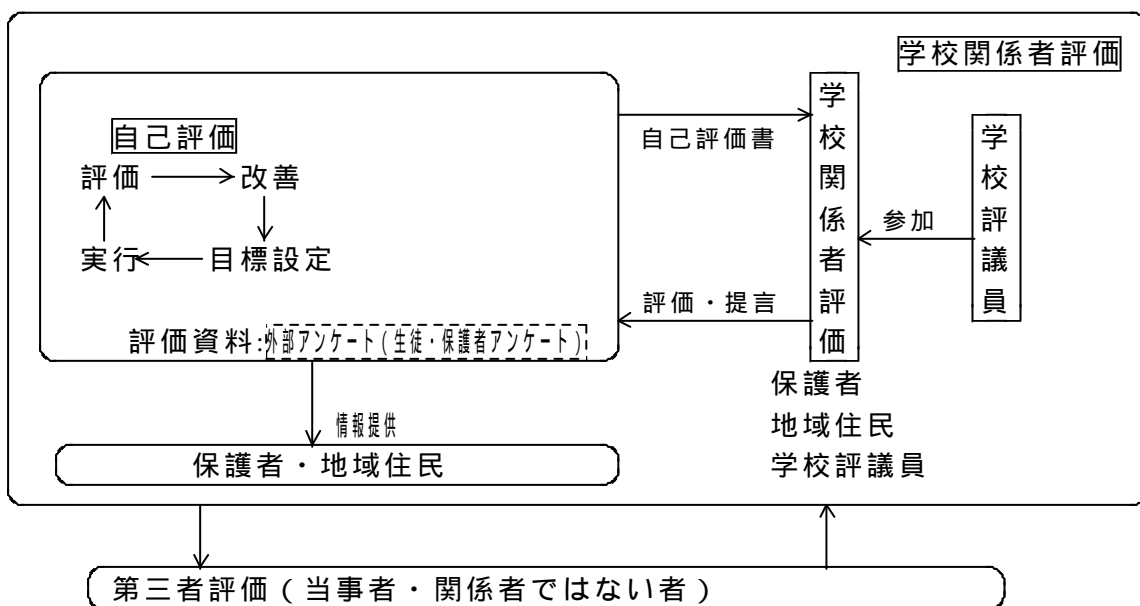
2 前項の評価を行うに当たっては、小学校は、その実情に応じ、適切な項目を設定して行うものとする。

第67条 小学校は、前条の規定による評価の結果を踏まえた当該小学校の児童の保護者その他の学校関係者による評価を行い、その結果を公表するように努めるものとする。

第68条 小学校は、第66条第一項の規定による評価の結果及び前条の規定により評価を行った場合はその結果を、当該小学校の設置者に報告するものとする。

第79条 (略)中学校に準用する。

学校評価のイメージ



すべての評価結果等を教育委員会に報告



## 学校評価（自己評価）

周南市立周陽中学校

平成20年度の「学校経営の基調」（平成20年4月3日提示）では、「4 本年度の努力点」の10項目のうち、特に次の3項目について、重点をおいて取り組むとしています。

心の教育の推進（安心して安全な人にやさしい学校・学級づくり）

- 1 道徳授業（副読本や体験的活動）の進め方について研修し、生徒の道徳心の育成に努めた。

1 そう思う    2 ややそう思う    3 あまり思わない    4 思わない

- 2 学級活動、教科学習を通じて安心して安全な人にやさしい学校・学級づくりに努めた。

1 そう思う    2 ややそう思う    3 あまり思わない    4 思わない

取組と課題（自己評価）

基礎・基本の徹底と確かな学力の定着（学び合いのすすめ、少人数指導の充実）

- 1 教科内容や学び合い活動等を研修し、その内容を授業に取り込みながら、生徒の基礎・基本の徹底、学力の定着に努めた。

1 そう思う    2 ややそう思う    3 あまり思わない    4 思わない

- 2 学力向上プランの見直し案の実践程度はどの程度ですか。

1 計画通り    2 やや計画通り    3 あまり進んでいない    4 これから取組む

- 3 確かな学力の定着のための取組と課題を簡潔に書いてください。

.

一人ひとりの夢の実現をめざすキャリア教育の推進（生き方指導、職場体験の充実）

- 1 一人ひとりの夢の実現をめざすキャリア教育について研修し実行に移してきた。

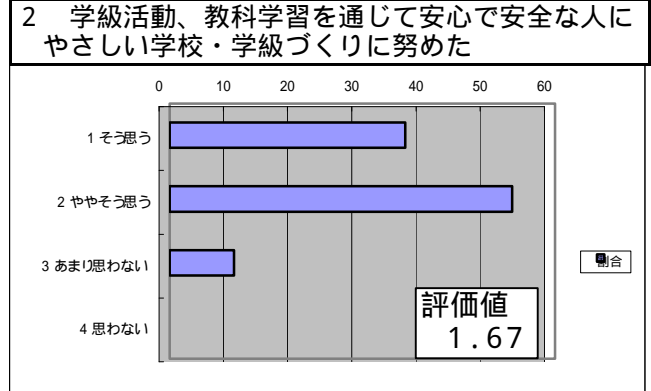
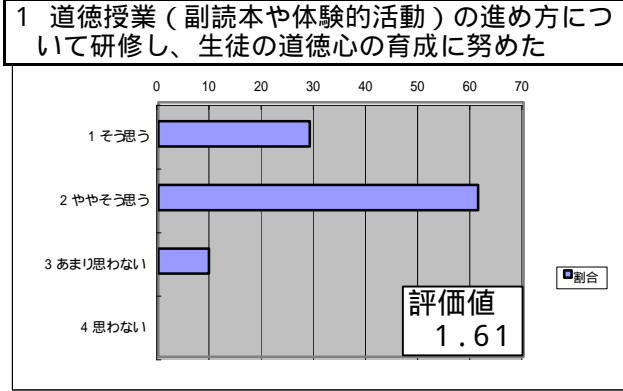
1 そう思う    2 ややそう思う    3 あまり思わない    4 思わない

- 2 体験活動前後の指導を重視してきた。

1 そう思う    2 ややそう思う    3 あまり思わない    4 思わない

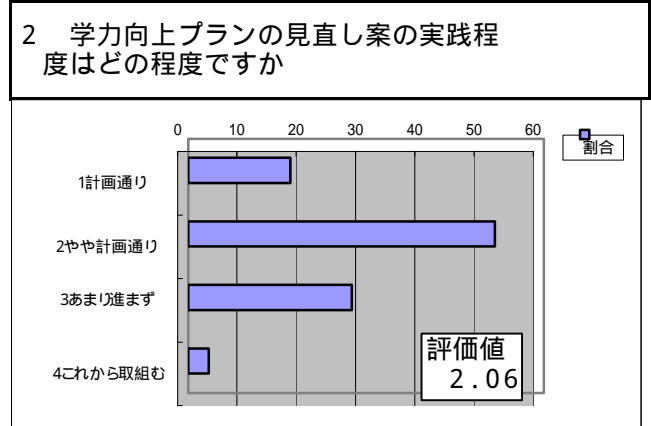
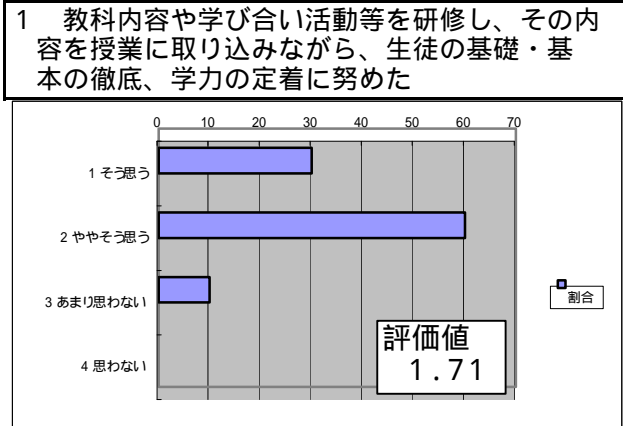
- 3 キャリア教育への取組と課題を簡潔に書いてください。

## 心の教育の推進 (安心で安全な人にやさしい学校 学級づくり)



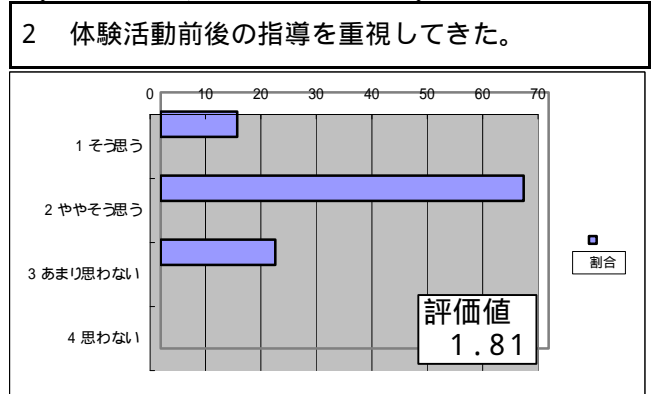
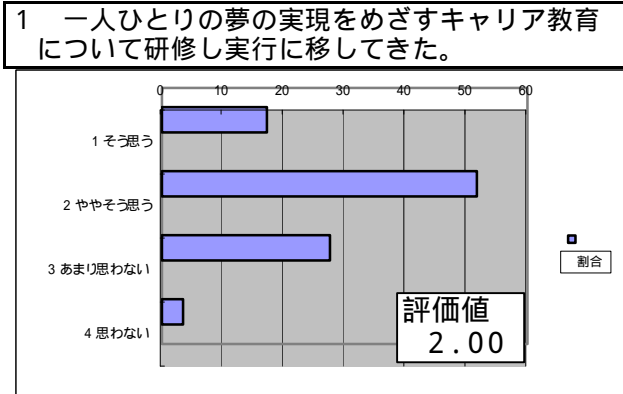
- 取組**
- ・形から入る指導と心を育てる指導のバランスに気をつけている
  - ・学び合い活動の工夫
  - ・組織的に取り組めた
  - ・発言に重点を置いている
  - ・学年、学級が落ち着いてきた
  - ・いじめの未然防止に役立っている
- 課題**
- ・より安心感を得る工夫
  - ・心を揺さぶる授業づくり
  - ・意識の共通化

## 基礎・基本の徹底と確かな学力の定着 (学び合いのすすめ、少人数指導の充実)



- 取組**
- ・心構えの指導
  - ・ノートと活用についての指導の工夫
  - ・学習カードの活用
  - ・作業場面での注意喚起
  - ・観察、実習の取り入れ
  - ・定期的な小テストの実施
  - ・落ち着いて学習できるようになった
- 課題**
- ・生徒と教師の関係を良好に維持する
  - ・少人数指導で生徒との関わりを増す
  - ・生徒の授業評価を改善に活かす
  - ・様子が分かる情報発信
  - ・学習規律を身につける
  - ・継続的な研修

## 一人ひとりの夢の実現をめざすキャリア教育の推進 (生き方指導、職場体験の充実)



- 取組**
- ・職場体験の目的は達成した
  - ・地道な指導
  - ・計画性をもって取り組めた
  - ・日々の当番活動から、やり甲斐を感じさせる
  - ・前後の指導が充実している
- 課題**
- ・教科との関連性
  - ・進学に偏らない進路指導
  - ・体験希望調査に工夫がいる
  - ・生徒の意識を高めていく (達成感)
  - ・生徒、保護者への啓発活動

全体の傾向としていずれかに をしてください。

1	2	3	年
---	---	---	---

< 学習について >

1 基礎・基本をおさえ、分かりやすい

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

2 教科への関心・意欲が高まる

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

3 考える力や判断する力がつく

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

4 創造力、表現力がつく

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

< 進路・体験学習について >

5 進路について学習している

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

6 いろいろな体験活動がある

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

7 体験活動前後の学習がある

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

< 生活について >

8 あいさつをよくしている

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

9 きまりを守っている

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

10 悩み事など身近な人に気軽に相談している

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

11 思いやりに心がけている

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

< 部活動について >

12 部活動の休みの日がある

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

13 部活動は適切に行われていると思う

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

< 学級、少人数授業・複数の先生による授業（TT） >

14 1クラスの人数は適切である

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

15 少人数指導・TTは分かりやすい

そう思う ややそう思う あまり思わない 思わない  
1 - 2 - 3 - 4

学校アンケート

保護者用

周南市立周陽中学校

保護者の立場から、本校の全体の傾向としていずれかに をしてください。

1	2	3	年保護者
---	---	---	------

< 学習指導 >

- 1 基礎・基本を重視し、分かりやすい授業に心がけている
- 2 教科への関心・意欲を高めようとしている
- 3 考える力や判断する力を伸ばそうとしている
- 4 創造力、表現力を伸ばそうとしている

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4

< 進路指導・体験学習 >

- 5 個に応じた進路指導が計画的に行われている
- 6 多様な体験活動を重視している
- 7 体験前後の指導を重視している

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4

< 生徒指導 >

- 8 生徒はあいさつがよくできる
- 9 生徒はきまりを守っている
- 10 生徒は身近な人に悩み等を気軽に相談している
- 11 生徒は思いやりの大切さを理解している

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4

< 部活動 >

- 12 部活動の休みの日が確保されている
- 13 部活動は適切に運営されている

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4

< 学級、少人数・複数の教員による指導（TT）等 >

- 14 1学級の生徒数は適切である
- 15 少人数指導・TTは生徒にとって分かりやすい
- 16 学校だより等で広報活動に努めている

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4

自由記述欄

学校アンケート

教員用

周南市立周陽中学校

本校の全体の傾向としていずれかに をしてください。

1	2	3	年	所属
---	---	---	---	----

< 学習指導 >

- 1 基礎・基本を重視し、分かりやすい授業に心がけている
- 2 教科への関心・意欲を高めようとしている
- 3 考える力や判断する力を伸ばそうとしている
- 4 創造力、表現力を伸ばそうとしている

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4

< 進路指導・体験学習 >

- 5 個に応じた進路指導が計画的に行われている
- 6 多様な体験活動を重視している
- 7 体験前後の指導を重視している

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4

< 生徒指導 >

- 8 生徒はあいさつがよくできる
- 9 生徒はきまりを守っている
- 10 生徒は悩み事など身近な人に気軽に相談している
- 11 思いやりを育てようと心がけている

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4

< 部活動 >

- 12 部活動の休みの日は確保している
- 13 部活動は適切に運営されている

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4

< 学級、少人数指導・複数の教員による指導 ( T T ) >

- 14 1クラスの人数は適切である
- 15 生徒にとって少人数指導・T Tは分かりやすい

そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4
そう思う	ややそう思う	あまり思わない	思わない
1	- 2	- 3	- 4

## 学校評価生徒結果と保護者アンケートの評価値比較

21.2.13 実施

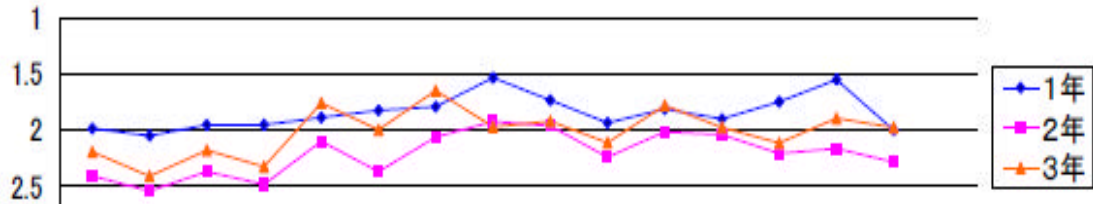
「1 そう思う～4 そう思わない」としており、中間評価値は2.5となる。

回収率 生徒 486 / 508人 96.3 %

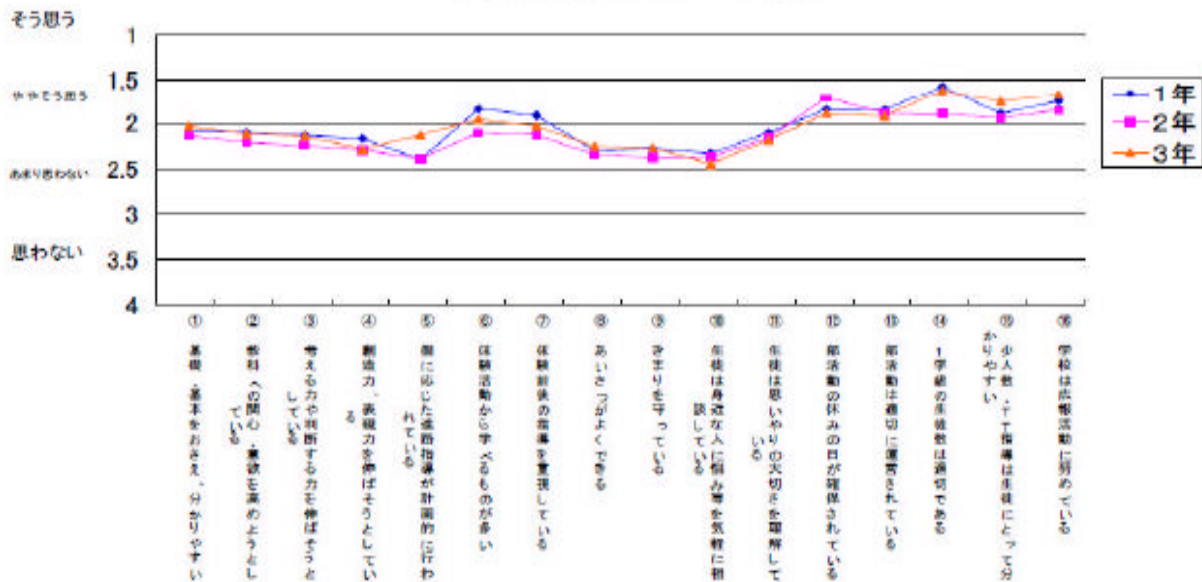
保護者 361 / 465人 77.6 %

21.2

学校評価生徒 アンケート(網羅型)



学校評価保護者アンケート(網羅型)



### < 全体的傾向 >

- ・ 全体的には、中間値 2.5 を下回る値（「1 そう思う」の割合が高く、グラフが上側にある。）で良好に運営されている。
- ・ 各学年の生徒の評価値グラフが上にあるものは、該当保護者のグラフも上にある。

### < 学習 >

- ・ 3年生は2月の現段階で、まとめに入っていることを考慮しても、2年生生徒の「2 教科への関心・意欲が高まる」、「4 創造力、表現力がつく」の値が中間値 2.5 にあることは注意が必要である。

### < あいさつ、きまり >

- ・ これまでのアンケートでも同様であるが、生徒と保護者の反応は異なる。生徒から生徒、大人からの生徒への感覚の相違があるのではないか。

### < 学級生徒数 >

- ・ 質問項目 14 では、学級生徒数は1,3年生は30人前後、2年生は35人前後となっており、1, 3, 2年生の順で学級生徒数が増すことが原因と思われる。



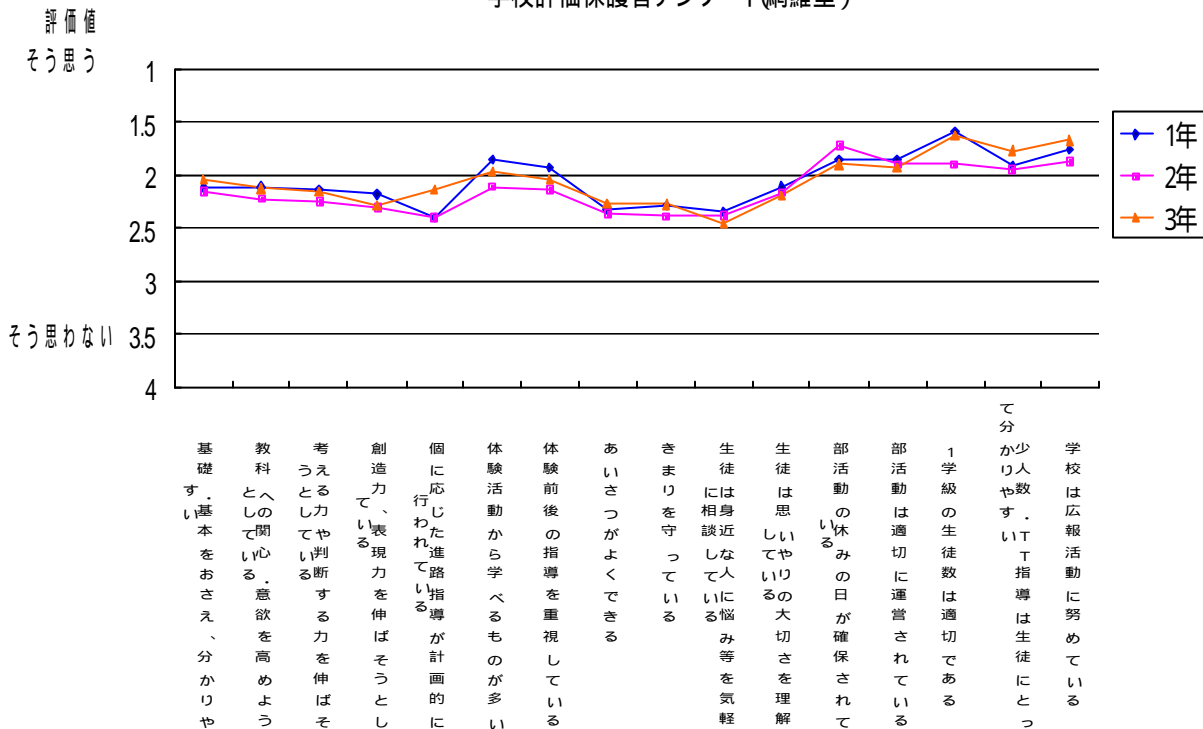
# 学校評価保護者アンケート結果

## 周南市立周陽中学校

### < 結果グラフ >

平成21年2月実施 回答保護者数 361人(78%)

学校評価保護者アンケート(網羅型)



#### 評価値とは

各項目での「そう思う 1 ~ そう思わない 4」の回答番号を数値とし合計から平均を求めたものです。

中間値は 2.5。値が少ないほど「そう思う」「ややそう思う」と答えた人が多いということになります。

すべての項目の評価値は 2.5 以下（グラフでは上側）にあり、良好に運営されていると考えていますが、次の項目は評価値は 2.5 に近く、より保護者の皆様に伝わる形での情報提供も必要であると考えています。

- 学習面 : 「創造力、表現力の育成」
- 特別活動 : 「個に応じた進路指導」
- 生徒指導、教育相談 : 生徒に関わる「あいさつ」、「きまり」、「悩み相談」

### < 結果から >

- 学習面や進路指導に関しては、参観日等を通じて「授業の様子」を見てもらう他、「個に応じた進路指導」とは、「高校を中心とした出口指導」ではなく、1年生からの継続的な「生き方、在り方」指導としての進路指導の実際、さらにはキャリア教育としての進路指導であることを広める必要があると考えます。
- また、6月に「保護者用 職場体験学習啓発資料」や「キャリア・スタート・ウィークの実践と課題」について2年生に報告冊子をお配りしましたが、学年だより、学校だより、さらには学校ホームページにより教育活動の広報活動に努める必要があると考えます。
- 今回の網羅的質問、特に学習面は保護者の立場からは大変答えにくかったと思います。学力向上といわれる世相の中、家庭での生活習慣や学習等の大切さを啓発するきっかけとして提示させていただきました。
- 部活動については、全体的には良好に運営されていますが、休日のあり方等についてのご要望をいただきました。
- 学級生徒数は現在、1,3年生は30人前後、2年生は35人前後の編成となっていますので、学年の差が出たものと考えています。

### 自由記述欄から

- 服装や頭髪等の乱れもなく、子供も楽しく学校に行っているの、親としてとても安心している。(1年生保護者)
- 昔に比べて生徒自体の質・意識の低下は社会全体から感じられるが、今のところ子供をとりまく身近な環境においては、あいさつ・部活動・ボランティア参加と悪くは思えない。(2年生保護者)
- P T A や多くの保護者が学校へかかわることで、子どもたちも活性していくと思う。(2年生保護者)
- 周陽中に通えて本当に良かった。(3年生保護者)

### この他、次のような内容もありました。

- あいさつも、きちんと出来る子はきまっている。
- 自分のしている行動に責任がとれるような指導も考えてほしい
- 職場体験では、働く厳しさ、大変さがわかるような体験があっても良いのでは。
- 地域ボランティアへのすすめ ・ 補習授業や生徒自身が興味をもてる授業の展開
- 部活動への取組、要望 ・ 登下校のマナー

この度の学校評価アンケートのご協力ありがとうございました。

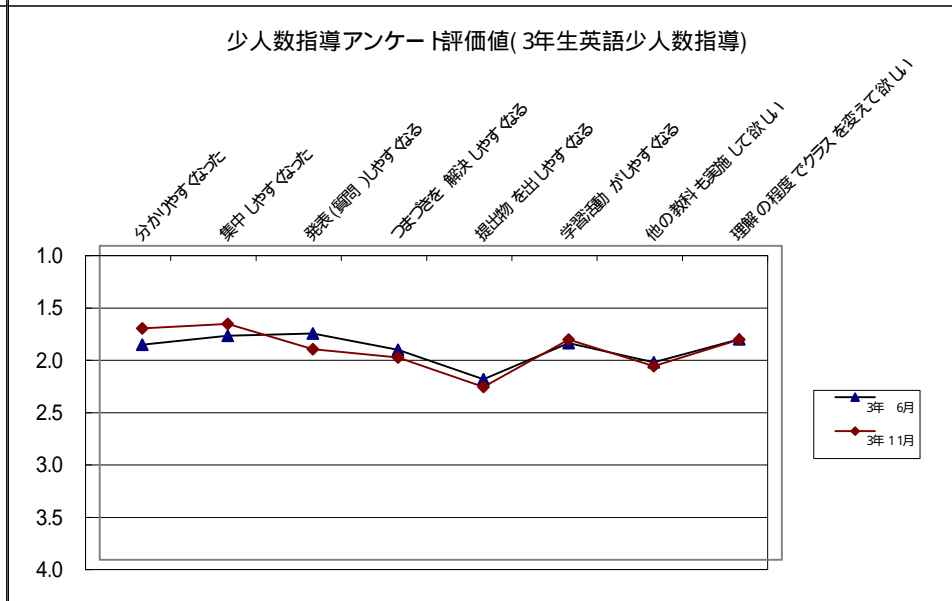
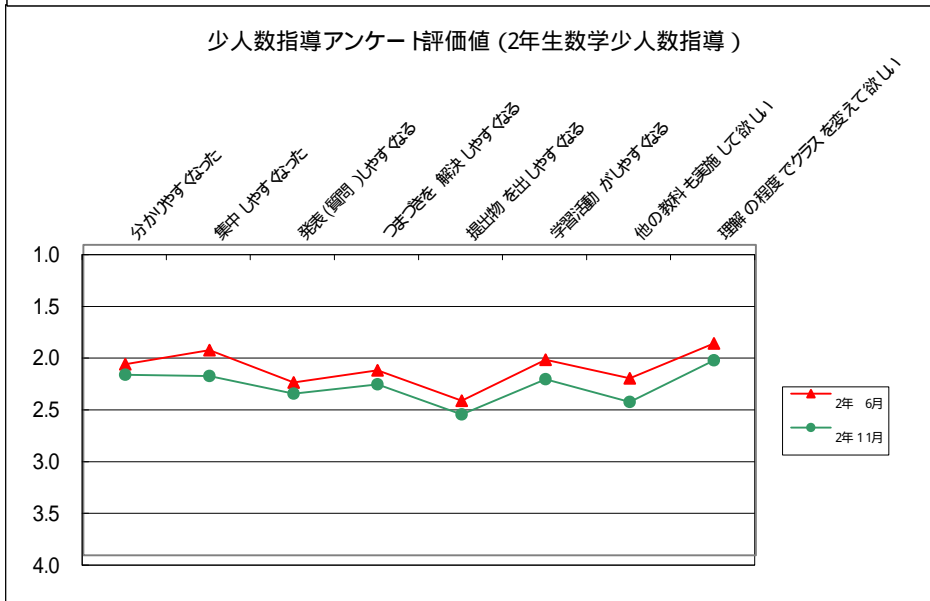
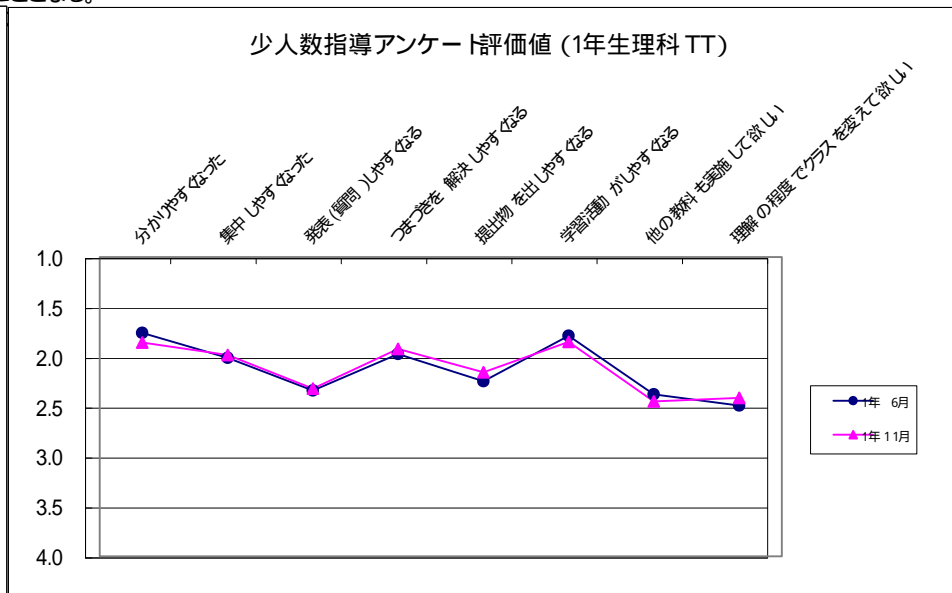
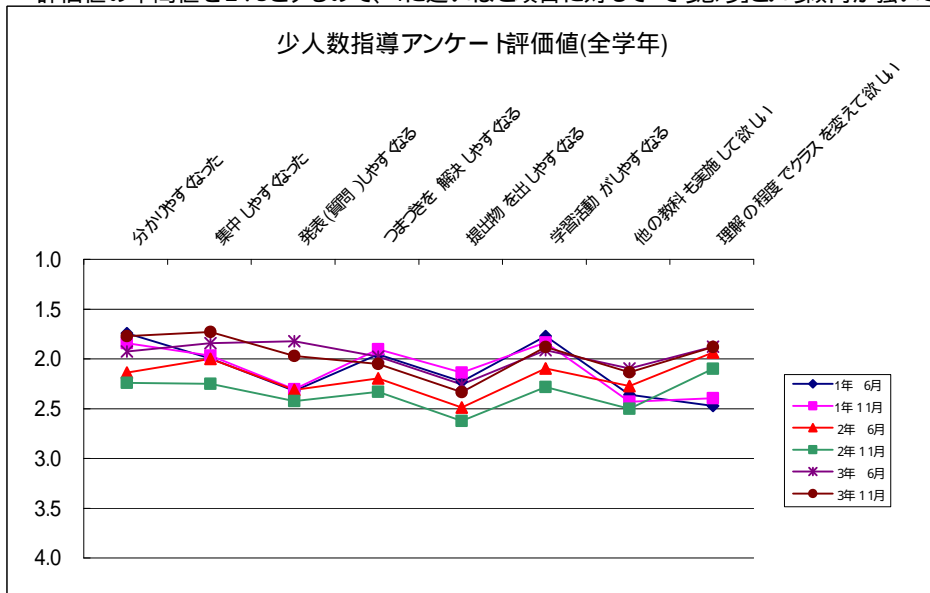
家庭・地域・学校がともに協力し合い、一緒に周陽地区に育つ生徒の学力向上と健全育成に努めたいと思います。

(今回の結果は2月PTA常任委員会で提示させていただきました)

# 少人数指導生徒アンケート結果 (評価値比較)

周南市立周陽中学校

・ 評価値の中間値を2.5とするので、1に近いほど項目に対して「そう思う」という傾向が強いこととなる。



・ 評価値の中間値を2.5とするので、1に近いほど項目に対して「そう思う」という傾向が強いこととなる。

・ 全学年の各項目とも評価値は「そう思う」に傾いている。特に3年生の「分かりやすくなった」、「集中しやすくなった」、「質問しやすくなった」の評価値は「そう思う」に傾いている。

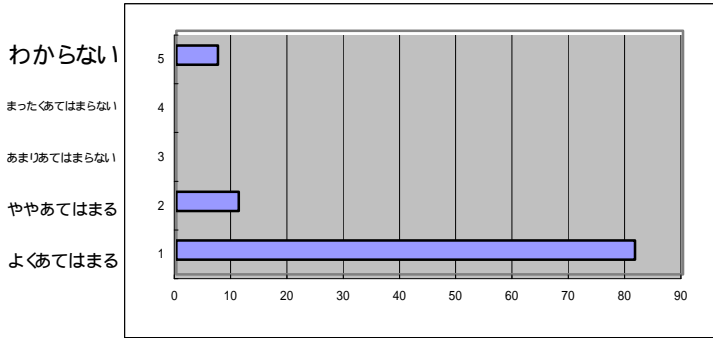
・ 提出物に関する問いは指導形態(TT, 少人数指導)に大きく影響しないと考えられる。

・ 理解度での学級編制は1年生はあまり望んでいないが、2,3年生では望む割合が高くなっていると言える。

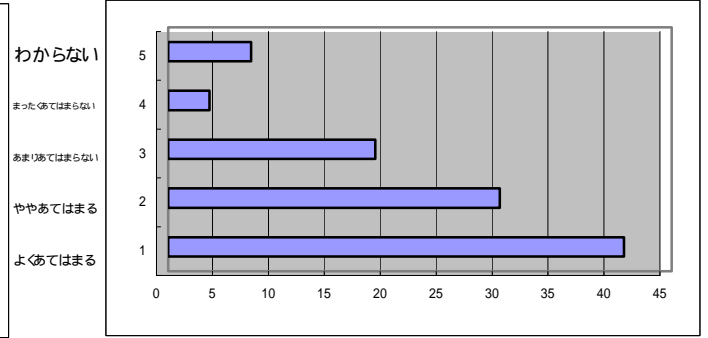
学校関係者評価 (Q0.6.13 桜木地区民生委員協議会、学校評議員会)

Q1.2.18 周陽地区民生委員協議会、保護司会)

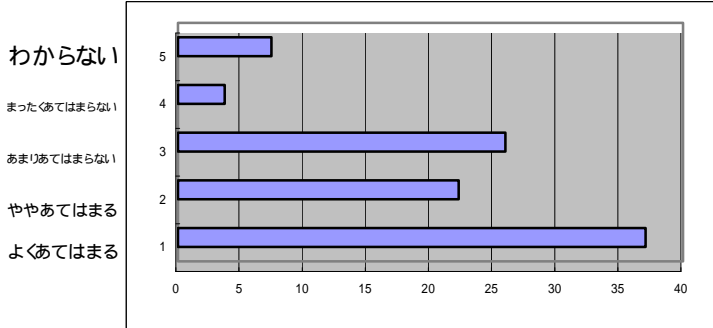
1 学校は教育に一生懸命取り組んでいると思う。



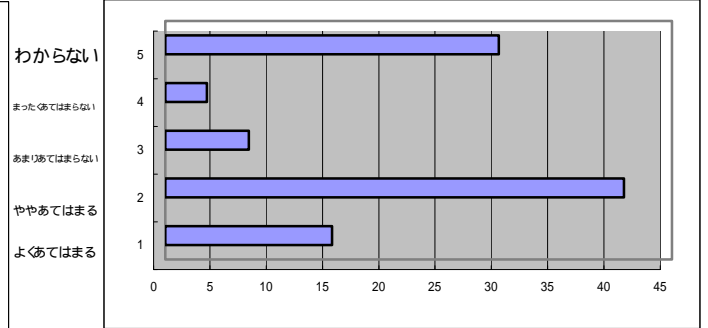
2 生徒はよくあいさつをする。



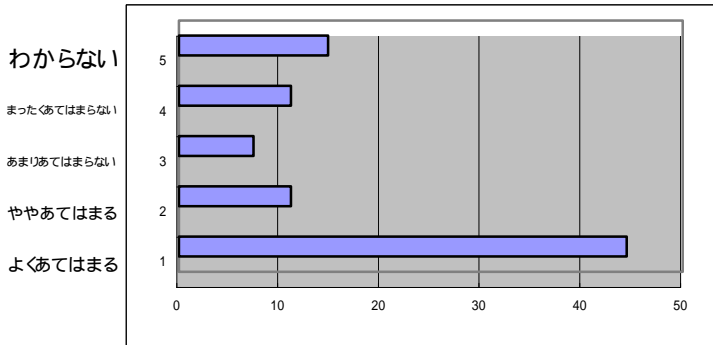
3 安全な登下校には地域住民の協力が必要



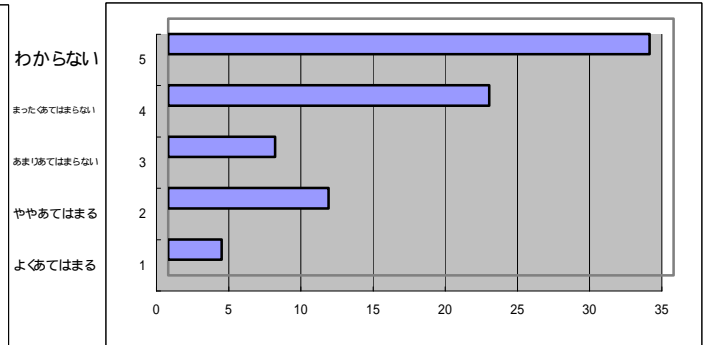
4 全校体制で特別支援教育を行っている。



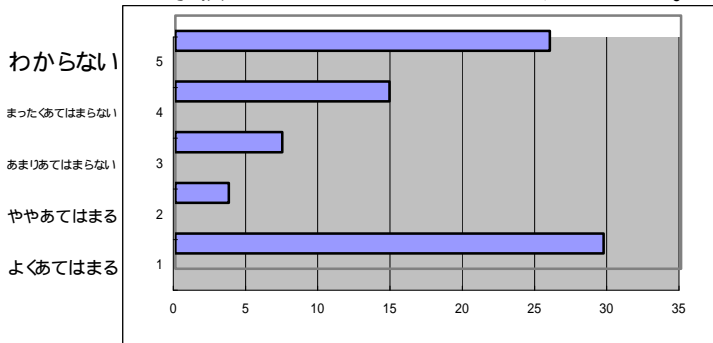
5 チャレンジ目標を設定していることを知っている



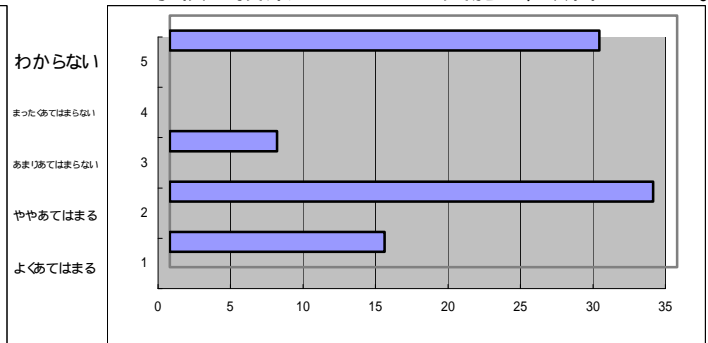
6 学校だよりをよく読んでいます。



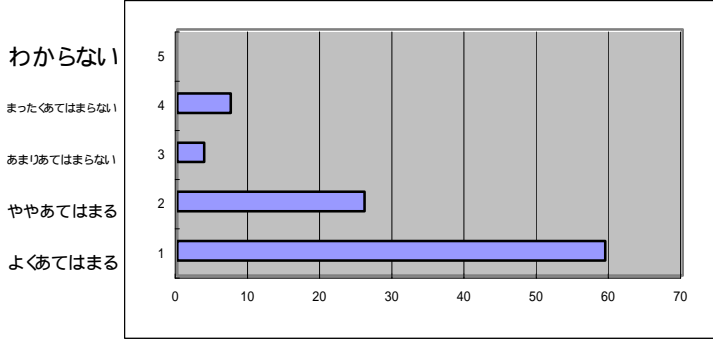
7 学校のホームページがあることを知っている。



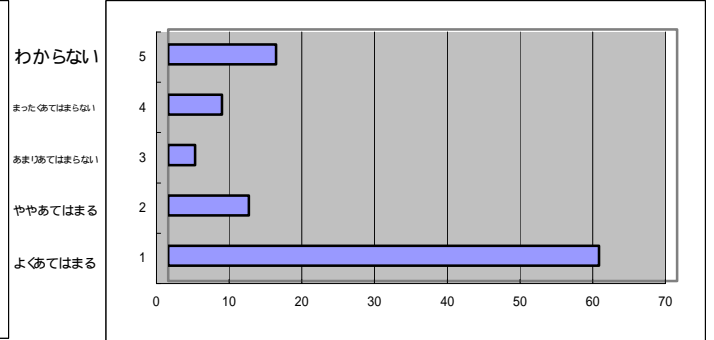
8 学校は授業アンケートを実施し改善している。



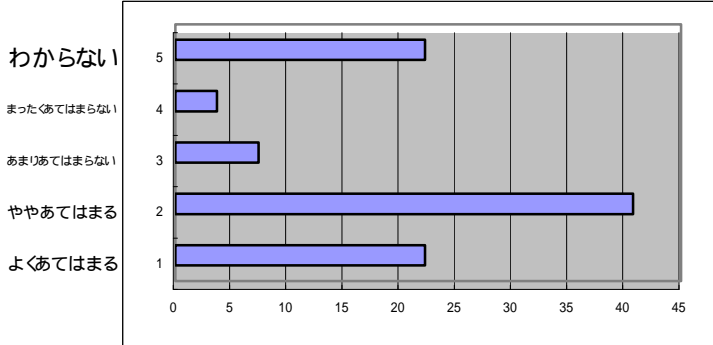
9 学校は地域行事に協力的である。



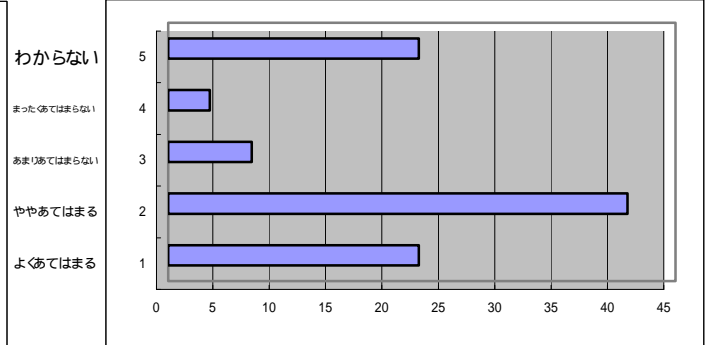
10 安全な環境が保たれている。



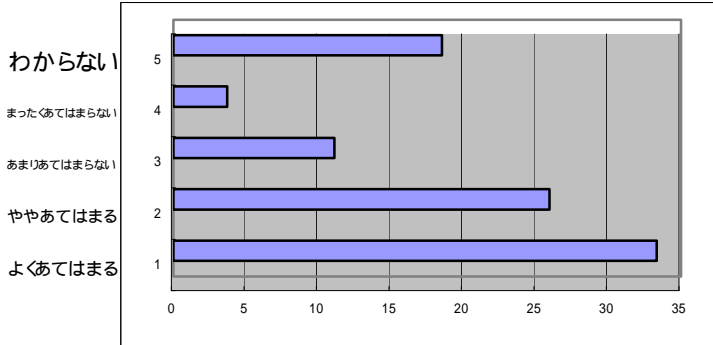
11 子どもたちは学校生活を楽んでいる。



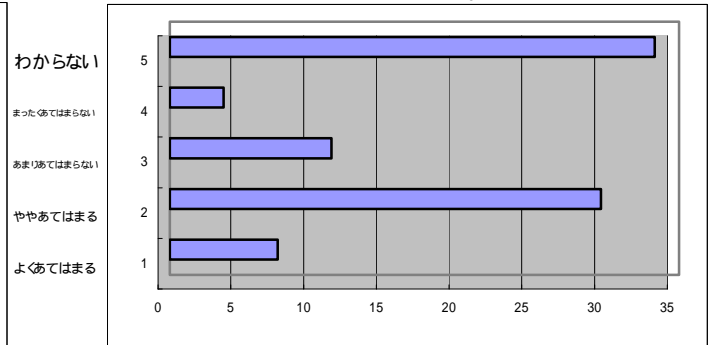
12 子どもたちは仲良く協力して活動している。



13 子どもの体力向上や心身の健康に取り組んでいる。



14 読書活動を推進している。



- いずれの会も、授業参観をしてもらいその後アンケートに答えてもらった。
- 回答総数は桜木地区15名、周陽地区17人。地域で活躍され、生徒を外部より支えていただいている方々である。
- 6月の回答に2月実施分を加えたものである。